

## 従前のまちづくり

(国交省都市局の視点での整理)

### ○基盤施設整備、土地利用規制が中心

- ＜民間等による都市活動の環境整備＞
- ・都市活動については商店街、自治会等活動分野毎の公益性に応じて別途支援

### ○民間の役割は限定的

- ＜日常管理への参加＞
- ・施設の保全活動
- ＜民有施設の管理＞
- ・施設管理会社  
(再開発ビル、地下街 等)

＜地権者として参加＞

- ・区画整理・再開発組合

＜施設整備での民間ノウハウ・資金活用＞

- ・P F I
- ・パブリック・インボルブメント

## 都市の成熟に伴うまちづくりの変化

### ○地域全体の政策課題（地方創生、国際競争力、福祉、子育て等）と直結

- ・立地機能そのものや都市活動も重視
- ・多様な人の参画による多様な活動が必要

### ○人口減に伴う縮退、公共施設再編等への対応

- ・維持管理の負担軽減、ストック効果等基盤施設の管理・利活用を重視
- ・空き地・空き店舗、P R E等土地利用面での問題が顕在化

### ○民間の公益性再評価

### ○官民連携の重視

### ○持続可能性・自立性 ・多様性の重視

## 民間の担い手によるまちづくり

### ○「活動、機能、基盤」「ハード、ソフト」の関係が深化

- ・活動やその成果の重視（=エリアでの評価）
- ・基盤施設、立地機能、活動の目的・役割の一体化

### ○事業性の重視

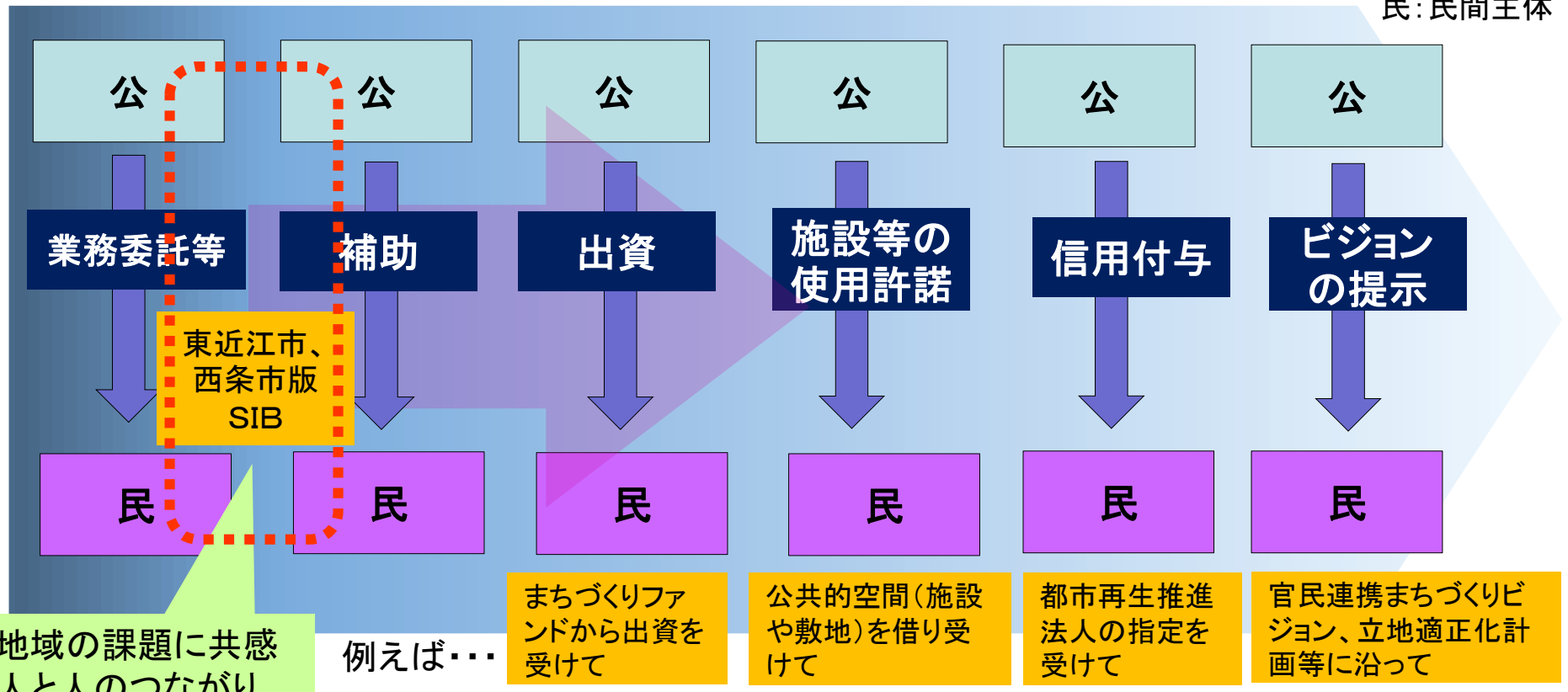
- ・公共投資に対する評価の軸が、投資規模から活動の成果へシフト
- ・公共支援のあり方の変化（≠過度の補助金依存）

### ○公共（空間、施設）の役割変化

- ・人の参画、活動を重視
- ・稼ぐ公共、柔軟な利活用
- ・民間（空間、施設）との一体化、境界部の変化

# 地域課題解決に向けた公と民の役割分担と連携(イメージ)

公: 公的主体  
民: 民間主体



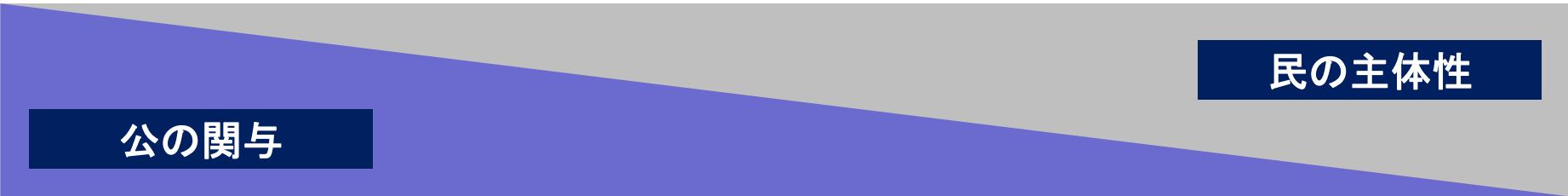
- 地域の課題に共感
- 人と人のつながり
- 自分事として公民・民民が協働

例えば...

- まちづくりファンドから出資を受けて
- 公共的空間(施設や敷地)を借り受けて
- 都市再生推進法人の指定を受けて
- 官民連携まちづくりビジョン、立地適正化計画等に沿って

まちづくり活動を実施

⇒ 地域の課題解決・エリアの価値の向上



# 『官民連携まちづくり』3つのキーワード

それぞれの地域らしい空間資源の使い方、地域の課題解決を図り、まちに多様なアクティビティが広がるまちづくりが進んでいます。

キーワード

## ① 地域独自の課題を発見し解決する



経済、社会、歴史、文化など様々な要素を読み解きながら、地域の課題を発見し、それぞれのエリアにあわせて解決

キーワード

## ② 公民にかかわらず、まちの空間資源をつかいこなす



公共空間、空きビルや空き家、空地等の遊休化・余剰化している空間資源を積極的に発掘し、地域と時代のニーズに対応したコンテンツ（機能）へと転換、再生、活用

キーワード

## ③ 人間中心の視点で居心地よい環境をつくる



人がつどい、様々なアクティビティがうまれるように作り手ではなく使い手の視点で、人間の身体感覚にあった居心地よい環境を形成